

# まちの駅ニュース

人と人の出会いと交流をサポートする  
まちの情報発信基地

## 1. 「まちの駅 NW おおひら設立 10 周年記念の集い」

栃木県大平町に「まちの駅ネットワークおおひら」が誕生したのは、平成 18 年 12 月のことです。当初は 12 駅でスタートし、その後 10 年の月日が流れ、現在は 18 駅。その間に大平町は平成の大合併で栃木市に編入しています。

「まちの駅ネットワークおおひら設立 10 周年記念の集い」は 11 月 29 日(水)に「プラッツおおひら」に集合し、駅前イルミネーション特別点灯を見学した後、「日立栃木晃南クラブ」に移動して懇親会を行いました。柳田和子代表のあいさつ、鈴木俊美栃木市長の応援メッセージ。鈴木市長は、大平町長時代からのまちの駅の心強い応援団です。おおひらメンバーと栃木県内外からの多数の参加者とで親睦を深めました。



## 2. 荒川シャルソン(SNS×ご当地マラソン)

11 月 26 日(日)、東京都荒川区で「荒川シャルソン」が開催されました。「ご当地シャルソン協会」が推進するシャルソン(Cialthon = ソーシャル×マラソンの造語)とは、指定のユニフォーム(T シャツ)を着て、街なかを自由にマラソンして、「給〇ポイント」を巡るイベントです。マラソンと言っても競走はしません。もっぱら歩き、自転車も公共交通の利用も OK。途中で発見したモノや景色を SNS で投稿しながら自由に街を見て回り、飲んだり食べたりしながら、指定の時間内にゴールします。その後の交流会では、投稿された画像や映像を見ながら、食べたり飲んだりしながら、みんなで報告し合います。荒川シャルソンに「あらかわ区まちの駅ネットワーク」もトイレ休憩所や「給〇ポイント」になって、参加者を応援しました。老若男女の参加者の目線や関心が様々なので、違った見方や気づきなど荒川区内の面白い発見がたくさんありました。皆さんのまちでも「ご当地シャルソン」を企画してはいかがでしょうか。



給〇ポイントとしてコーヒーを無料提供してくれた「サワディーの駅」

## 3. 「まちの駅ネットワーク信州須坂」が発足

長野県須坂市に「まちの駅ネットワーク信州須坂」が発足し、11 月 21 日(火)に認定式が行われました。官民の施設 20 か所がまちの駅として認定され、それぞれの駅が皆様をお迎えし、須坂の案内を致します。

須坂市は長野県の北東部に位置し、長野市とも隣接しています。江戸時代は須坂藩の陣屋町であり、明治から昭和初期にかけては製糸業で栄えました。当時の繁栄を偲ばせる土蔵や大壁造りの商家が残り、蔵の町としても知られています。また、また、峰の原高原、米子大瀑布、五味池破風高原など豊かな自然に恵まれています。全国有数のリンゴや巨峰の産地でもあります。まちの駅にもなっている「蔵のまち観光交流センター」の庭園には「またげるほど低いリンゴの木」が植えられており、11 月 23 日に子どもたちによる収穫体験が行われました。

散策すると楽しい須坂のまちですが、複雑な町並みのために地図を作っても分かりにくくなっているようで、そこがまた須坂の魅力でもあり、まちの駅の出番でもありますね。



まちの駅認定式



またげるほど低いリンゴの木



市道銀座通り・蔵の街並み入り口

## 4. パルプラザSCで「まちの駅物産フェア 2017」が開催



11月25日(土)、東京都江戸川区のパルプラザショッピングセンター商店会で、毎年恒例の「まちの駅物産フェア」を、フリマと合同で開催しました。今回は、青梅まちの駅の「ショコラ」、「ワサビのオリーブ漬」、まちの駅ネットワーク焼津から「まぐろの角煮」や「しぐれ煮」、「漁師のおでん」、まちの駅ネットワークはつかいちからは「元祖もみじ饅頭」「カキの佃煮」などを取り揃えました。好天のもと、そこそこの賑わいはありましたが、周辺団地群の高齢化も実感させられました。

## 5. 長岡市まちの駅メンバーが栃木県内のまちの駅視察

12月8日(金)～9日(土)、越後長岡まちの駅の前田敏会長、事務局の高橋秀一さんと岩嶋雄人さんの3名が、栃木県鹿沼市と小山市のまちの駅を視察しました。8日は鹿沼の福田義一さんのアテンドで、鹿沼市内のまちの駅を訪問しました。その後、鹿沼のまちの駅長会議にも参加し、懇親会では大いに盛り上がりしました。「刺激は進化の源」と言われますが、お互いに思いを伝え合うことで、刺激とやる気の交換になりました。また、日本女子大学経済学部4年の加藤由紀子さんが、卒論のテーマにまちの駅を取り上げて研究されており、長岡メンバーと合流して見学と会議にも参加。「まちの駅が深まった」との感想でしたので、論文の出来栄に乞うご期待です。



私の駅(私の美術館)にて

## 6. 第7回まちの駅オール栃木交流会を鹿沼で開催

一巡して今回が7回目となる「まちの駅オール栃木交流会」が、平成30年2月24日(土)鹿沼市で開催されました。まずは、まちの駅「花と緑の郷」(鹿沼市花木センター)に集合してイチゴ狩り体験。パックとハサミを受け取って、熟れたイチゴをチョコキンチョコキンと摘んでいきます。たちまちパックは山盛りに。その後の情報交換会では、摘んだイチゴを食べながら、参加者各人が近況を報告し合いました。



その後、まちの駅新・鹿沼宿に移動して自由散策時間に、「チョコレートの駅」と「心の駅」を訪問しました。夕方からは佐藤市長も臨席いただき、かぬまの新規まちの駅認定式とまちの駅ミニ研修、その後は懇親会で盛り上がりしました。

## 7. 埼玉県商店街連合会が、まちの駅ネットワーク本庄を視察

平成30年3月9日(金)、埼玉県商店街連合会が本庄市のまちの駅を訪れました。埼玉県内の地域資源を活かした地域活性化の取り組み事例の視察研修です。メンバーはさいたま市、秩父市、川越市、所沢市、川口市、深谷市、ホスト役として本庄市の各商店街連合会と事務局の埼玉県連の合計39名。

まずはJR本庄駅に集合後、バスで移動して味の駅(味処とりよし)で昼食&事業説明。本部事務局がまちの駅の概要と経緯を説明し、まちの駅ネットワーク本庄の阿奈正子代表が活動事例を報告、直接商売に結び付くことはないが、まちの駅になることで新たな人の繋がりが出来て、いろいろな化学変化が起き始めていることを紹介しました。その後は、とうふの駅(もぎ豆腐店)とふる里の味の駅(中澤商店)を見学してもらいました。参加者からは「難しい事業ではない」「とにかくやってみることが重要だ」という声も聞かれました。今後、埼玉県内にまちの駅が増えることが期待できそうです。



## 8. 青豊高校の生徒がお弁当をプロデュース(豊前市)

大分との県境にある福岡県豊前市では、30ヶ所のまちの駅がネットワークを組んでいます。「道の駅豊前おこしかけ」もまちの駅に加盟していますが、地元の県立青豊高校生によるプロデュース弁当が人気だそうです。他の地域でも、三重県松阪市の納豆の駅(奥野食品)が高校生の考案した納豆料理レシピを商品化したり、宮崎県高鍋町や福岡県粕屋町でも、高校生とのコラボ事業が取り組まれています。高校生の感性や行動力が地方創生の大きな力になりつつありますね。



## 9. まちの駅実証実験 in マレーシアの報告(寄稿)

**まねとち**：みなさん、こんにちは。私は今回、「まちの駅」がマレーシアで実証実験中と聞き、ここタイピン市へやってきました。お隣には、実証実験を手がけたマラヤ大学上級講師のヨン・アディラさんにお越しいただいています。アディラさん、まずタイピン市について教えてください。

**アディラ**：タイピン市は私の故郷です。マレー半島の北西部に位置し、人口は約 20 万人、19 世紀に錫鉱山が発見されたことで栄えました。鉄道、博物館、動物園などマレーシアで”初めて”の施設が 30 以上あるほか、歴史的建造物もたくさん残っている伝統マレーシア版ロゴの息づく街です。

**まねとち**：アディラさんは、なぜまちの駅をタイピンで展開しようと思ったのですか？

**アディラ**：まちの駅のことは宇都宮大学留学中に、古池弘隆先生（宇都宮共和大学教授）と指導教官だった森本章倫先生（現・早稲田大学教授）が報告されたペーパーで知りました。タイピン市でも中心部の空洞化が進み、歴史的な街並みに関心を持つ人が減っていることに危機感を持っていたので、まちの駅を導入することが解決の糸口になるのではと考えたのです。2017 年度に住友財団の助成金がもらえることになり、2017 年 4 月から 2018 年 3 月まで 1 年間の予定で、実際にタイピン市でまちの駅に取り組むことになりました。

**まねとち**：準備も大変だったのではないですか？

**アディラ**：まずチラシを作って、6 月に公共施設や商店を 30 箇所以上回り、まちの駅について説明しました。最終的に実験に参加してくれたのは、そのうちの 5 カ所＝州立博物館、州立図書館、市立ギャラリー、ヒンドゥー教寺院、中国人協会です。

**まねとち**：前回 10 月に訪問した際、関係者の初会合に同席させてもらいましたが、いろいろ意見が分かれている印象がありました。

**アディラ**：マレーシアでは「無料でトイレを貸す」習慣がないため、理解を得るのに苦労しました。ラヒム市長がとても協力的でありがたかったです。

**まねとち**：実証実験はいつから始まったのですか？

**アディラ**：11 月に始まりました。市長から認定証を手渡された 5 施設に、日本と同じロゴマークが掲げられています。ただ、「MACHINOEKI」は発音が難しいため、「HENTIAN KOMUNITY」と表記することにしました。マレー語で「街の停留所」という意味です。幸運を呼ぶとされる「象」をマスコットに選び、ロゴマークと一緒にチラシに印刷しました。駅長さん達は「トイレをきれいにすること」をメインに活動しています。

**まねとち**：実験に当たっては、まちの駅ネットワーク宇都宮の協力も得たそうですね。

**アディラ**：7 月に、宇都宮大へ留学しているマレーシア人の学生に、宇都宮のまちの駅で駅長さんへのアンケート調査をしてもらいました。また、10 月には私とマラヤ大学の研究協力スタッフが宇都宮を訪問し、中心部でまちの駅に関する歩行者アンケートを実施しました。駅長さんにもお会いしましたが、日本のまちの駅の「おもてなし力」は高いですね。

**まねとち**：実際にまちの駅をやってみて、手応えはありましたか？

**アディラ**：最初から日本のような「おもてなし」を実践することは難しいと感じました。効果はこれからじっくり・ゆっくり表れるのではないかと感じています。SNS などを使って発信を続けたことと、複数のマスコミが取り上げてくれたので、マレーシアでのまちの駅の知名度は上がりましたから、「導入」としてはうまくいったのではないのでしょうか。

**まねとち**：これからの展開は、どのように考えていますか？

**アディラ**：助成金が得られれば、実験を続けたいですね。国際学会での報告を予定しているほか、今回の取り組みを紹介したテーブルブックも出したいと思っています。

**まねとち**：大学の仲間の協力を得ながら、まちの駅をマレーシアで立ち上げたアディラさんの行動力・バイタリティーには感服するばかりです。マレーシアでの実証実験は、日本のまちの駅の皆さんにも良い刺激になるのではないのでしょうか。

以上、まちの駅マークがたなびくタイピン市・州立博物館前からお伝えしました。



左からアディラさん、まねとち、博物館スタッフのアイニさん



州立博物館にもまちの駅の看板設置

※本稿は、まちの駅ネットワークとちぎ(まねとち)の吉田恵子氏が、実験中にタイピン市を 2 度訪問してまとめたものです。

# 予告1 第21回「まちの駅全国大会 in 会津」開催概要

**開催日：平成30年11月9日（金）～10日（土）**

- 1日目：まちの駅フォーラム&交流会（13：00～20：30）会場：会津若松ワシントンホテル  
 テーマ1：戊辰150年の歴史をたどり、地域のつながりを掘り起こそう  
 テーマ2：インバウンド観光の振興、オリパラ応援も含めて考えよう  
 テーマ3：まちの駅の課題と対策、現場の知恵を共有しよう

※現地の実施メンバーをゲストに招いて、マレーシアのまちの駅実験報告も予定します。

- 2日目：エクスカージョン「会津&まちの駅ツアー」

# 予告2 第10回「まちの駅九州・沖縄会議 南薩大会」開催概要

**開催日：平成30年9月14日（金）～15日（土）**

- 1日目：まちの駅フォーラム&交流会（13：00～20：30）会場：枕崎市・白波の駅  
 13:00～ 受付&まちの駅PB焼酎「天地一杯」の仕込み体験  
 14:00～ 現地案内&体験（鯉節工場見学、鯉出汁づくり体験、超低温冷凍庫体験、等）  
 16:00～ 式典&基調講演「大河ドラマ『西郷どん』の裏話」（仮題）／講師：東川隆太郎氏）  
 2日目：まちの駅ツアー（南薩指宿ルート・鹿児島ルート・霧島ルート・北薩ルート、等）

## 新規まちの駅のご紹介（平成29年11月から平成30年3月までの加盟駅）

都道府県	市町村	まちの駅名
福島県	矢祭町	・まちの駅 やまつり
栃木県	鹿沼市	まちの駅ネットワークかめま(2 駅)
		・豊かな心を育む駅
		・SEYA NEWSSTAND
新潟県	小千谷市	・まちの駅 ドリームハウス夢家族
		・まちの駅 ハイハイネット
静岡県	富士市	・まちの駅 旅ぱ～く
長野県	須坂市	まちの駅ネットワーク信州須坂(20 駅)
		・蔵のまち信州須坂 観光ガイドの駅
		・須坂観光案内の駅
		・まちの写真屋さんの駅
		・地酒と地ワインの駅
		・秘密の栗ちゃんの駅
		・蔵のさと温泉の駅
		・笠鉾(かさほこ)の駅
		・大正ロマンの駅
		・旧越家住宅(山丸一番館)
		・まゆぐら
		・須坂「南の玄関」駅
		・みそ蔵の駅
		・糀屋 発酵食品の駅
		・地ワインとアートの駅
		・泣く子も黙る団子とおやきの駅
		・お百ショップすざか
		・呉服 綿幸
		・仁礼直売所 風のギャラリー
		・串だんごとおやきの駅
・信州須坂まちの駅 蔵のまち観光交流センター		

都道府県	市町村	まちの駅名
広島県	廿日市市	まちの駅ネットワークはつかいち(4 駅)
		・情報いっぱい駅
		・指圧とお灸の癒しの駅
		・峠 うどんと山賊焼の駅
鹿児島県	枕崎市 伊佐市 出水市	鹿児島まちの駅連絡協議会(3 駅)
		・SKAの駅
		・伊佐の駅 大口ふれあいセンター
		・武家屋敷の美術館の駅

### 編集後記

先日、日本女子大学の加藤由紀子さんの卒業論文『日本における「まちの駅」の展開とその意義』が、本部事務局に届きました。ニュースでも紹介したように、加藤さんは11月の長岡市のまちの駅メンバーによる栃木のまちの駅視察&交流に同行したほか、他のまちの駅を見たり、駅長や関係者から聞いた話を盛り込んだ考察になっています。

本人が栃木県高根沢町の出身であり、これをご縁に栃木のまちの駅活動に協力してもらおうと思ったら、なんとご本人は北海道の企業に就職されたとのこと。北の大地での活躍を期待したいと思います。

さて、2018年は明治維新（戊辰）150周年、まちの駅20周年、東京オリパラまであと2年、平成時代も残り1年余り…。始動の年になりそうです。（は）

全国まちの駅連絡協議会事務局

（NPO 法人地域交流センター内）

東京都千代田区東神田 1-7-10 KIビル 3F

TEL03-5823-4190/FAX03-5823-4191

